

あれからどうなったんやぁ〜

シリーズ 119

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和7年6月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

問 山林火災が発生した場合の対応は。

こうなりました

令和8年6月24日、養老地区直江林道付近において林野火災防御訓練を行いました。

全国的に林野火災が頻発しており、養老町も山々に囲まれた地域であることから、林野火災を想定し、初動体制の早期確立・関係機関との連携を図り、効果的な消防活動を実施するための訓練をしました。

消防車両が山中まで侵入できないことも想定し、可搬ポンプや山林ポンプなどの運用や背負い式消火水のうでの消火活動、また、岐阜県防災航空隊防災ヘリコプターと無線による空地連携や上空からの偵察訓練を実施しました。

林野火災は、焚火や火入れ、たばこの投げ捨てなど、人為的な火の不始末によるものが多いとの報告があります。

近年、キャンプや登山などのアウトドアレジャーによって、多くの人が自然の中で火を扱う機会が増えています。火から目を離すことなく、必ず消火用の水を準備するなど、万一来て備えて安全に楽しんで下さい。

今後も火災予防を広報していき、次年度以降も有事に備えた訓練を継続してまいります。



リヤカーで山林ポンプ等を火点付近へ搬送



背負い式消火水のうでの放水



山林ポンプによる消火

議会ニュース

議員登庁案内板を設置

その日の議員の登庁状況が分かるように、役場1階ロビーに、議員登庁案内板を設置することにしました。役場に登庁しているときは議員氏名が黄色に表示されています。



1年間お疲れ様でした

第2回定例会（初日）において、早崎百合子前議長のその功績に対し、野村永一議長より感謝状が贈呈されました。



令和8年第3回定例会を9月に開催予定です。

ぜひ傍聴にお越し下さい。

詳しい日程については、「広報よろう」9月号と町ホームページでお知らせします。

一般質問の日は車いすの方も議会を傍聴していただけます。

ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせ下さい。

議会の様子をライブ配信で見ることができます。

養老町議会では、町ホームページまたはLINEの公式アカウントより定例会の様子をライブ配信し、議会当日の様子がご覧頂けます。また当日は、役場ロビー設置のテレビで放映しています。



議会QRコード



登下校時の熱中症対策は

教育長

各学校が適切に対応



みずたにくみこ 議員
◆ 水谷久美子

答 有効性について認識しているが、見守り活動や安全確認の面など課題もあり、許可は考えていない。特別な配慮が必要な場合、適切に対応する。

問 子どもの瞳孔は大きく、強い紫外線を浴びると「紫外線角膜炎」「翼状片」「白内障」などの疾患に繋がることがある。児童・生徒のサングラス着用の見解は。

答 設置場所や電源確保などの課題があり、現時点での設置は考えていない。

問 冷却グッズの使用及び冷却冷凍庫の設置を求める。

問 ランドセルの中身軽量化とランリユックの使用の見解は。

答 置き勉、教材の精選、持ち物の見直し・工夫を行っている。体への負担軽減や金銭的負担、多様性の観点など保護者の選択によりランリユックの使用も可能にするといった選択の幅を広げていく。



熱中症・紫外線予防に日傘を

町職員の通年採用を提言する

町長

専門職の常時募集を検討したい

ほかに「シニア世代向け資格取得等支援事業補助金の創設について」の質問もしました。

答 過去5年間の離職者の中には、技術職・保育教諭・保健師3名が含まれ、人材確保は重要な課題である。職員採用試験に向け、複数の東海圏域の大学訪問、今年度から応募者の利便性向上のため新たに電子申請を導入し、一定の効果があった。今年度設置した働き方改革推進ワーキンググループを中心に、職場環境の整備に取り組む。

問 専門・技術職の離職と人材確保は。

答 合計57名を採用。離職者は15名。離職率は26・3％。

問 養老町の過去5年間の職員採用と離職率は。

多くの自治体は、専門・技術職を中心に人材確保が難航している。将来、行政サービスを持続できるか懸念があり、職員体制の構築は必須である。

問 多様な経歴を持つ経験者や専門人材を柔軟に確保できる通年採用への見解は。

答 社会人経験者を対象に年度途中採用を行っている。人材不足の専門職対応は、年間を通じて常時募集も今後検討したい。

問 若手の声を聞く面談とフォローアップは。

答 所属長及び総務課が定期的に面談し、必要な支援を講じている。



住民に寄り添う健康相談